

表 2-2-1

			そ う 思 う	言 え ば そ う と 思 う	ど 思 わ ら な い と 思 う	言 え ば そ か と 思 う	ど 思 わ ら な い と 思 わ ない	そ う は 思 わ ない	統 計 的 検 定
1 差別の原因は、差別をされる人の側にもある	男性	626	8.0%	27.0%	34.7%	30.4%	p=.004**		
	女性	753	4.4%	21.1%	40.0%	34.5%			
	性別未選択者	12	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%			
	合計	1391	6.0%	23.8%	37.5%	32.8%			
2 人権学習に参加したいと思う	男性	625	7.0%	29.3%	36.8%	26.9%	p=.004**		
	女性	754	7.4%	31.8%	40.7%	20.0%			
	性別未選択者	12	16.7%	8.3%	75.0%	0.0%			
	合計	1391	7.3%	30.5%	39.3%	22.9%			
3 自分も気づかぬうちに、人を差別してしまうかもしれない	男性	627	21.5%	56.0%	17.1%	5.4%	p=.718		
	女性	752	21.3%	58.8%	13.8%	6.1%			
	性別未選択者	12	25.0%	58.3%	8.3%	8.3%			
	合計	1391	21.4%	57.5%	15.2%	5.8%			
4 公共交通機関で、高齢者、障害のある人、妊娠している人、乳幼児連れの人、体調不良の人等に席を譲るようにしている	男性	629	50.9%	43.4%	5.4%	0.3%	p=.007**		
	女性	759	59.3%	37.5%	2.5%	0.7%			
	性別未選択者	12	41.7%	58.3%	0.0%	0.0%			
	合計	1400	55.4%	40.4%	3.8%	0.5%			
5 差別、差別と騒ぎすぎるので、かえって差別はなくならないと思う	男性	627	23.0%	33.2%	27.4%	16.4%	p<.001**		
	女性	760	13.7%	37.2%	32.8%	16.3%			
	性別未選択者	12	8.3%	33.3%	8.3%	50.0%			
	合計	1399	17.8%	35.4%	30.2%	16.7%			
6 差別発言を耳にした場合、やめるように注意したい	男性	624	18.4%	60.3%	16.7%	4.6%	p=.524		
	女性	756	18.4%	64.4%	13.6%	3.6%			
	性別未選択者	12	25.0%	50.0%	16.7%	8.3%			
	合計	1392	18.5%	62.4%	15.0%	4.1%			
7 差別をされた人のくやしさを分からなくても仕方ない	男性	625	4.6%	13.4%	43.7%	38.2%	p=.276		
	女性	755	3.0%	13.4%	39.5%	44.1%			
	性別未選択者	12	0.0%	8.3%	41.7%	50.0%			
	合計	1392	3.7%	13.4%	41.4%	41.5%			
8 人権や差別について、あまり関心がない	男性	625	5.8%	22.2%	44.0%	28.0%	p=.035*		
	女性	759	3.4%	19.8%	43.0%	33.9%			
	性別未選択者	12	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%			
	合計	1396	4.4%	20.7%	43.5%	31.4%			
9 ひとり親家族も多様な家族形態の一つであると思う	男性	627	67.9%	27.3%	3.8%	1.0%	p=.045*		
	女性	759	75.8%	20.9%	2.1%	1.2%			
	性別未選択者	12	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%			
	合計	1398	72.2%	23.8%	2.9%	1.1%			

表 2-2-2

	1 差別の原因は、差別をされる人の側にもある・逆	2 人権学習に参加したいと思う	4 公共交通機関で、高齢者、障害のある人、妊娠している人、乳幼児連れの人、体調不良の人	5 差別、差別と騒ぎすぎるので、かえって差別はなくならないと思う・逆	8 人権や差別について、あまり関心がない・逆	9 ひとり親家族も多様な家族形態の一つであると思う
F1 性別						
男性	2.9	2.2	3.5	2.4	2.9	3.6
女性	3.1	2.3	3.6	2.5	3.1	3.7
性別未選択者	3.3	2.4	3.4	3.0	3.5	3.8
合計	3.0	2.2	3.5	2.5	3.0	3.7

表 2-2-1 と表 2-2-2 によると、「1 差別の原因は、差別をされる人の側にもある・逆」、「5 差別、差別と騒ぎすぎるので、かえって差別はなくならないと思う・逆」、「8 人権や差別について、あまり関心がない・逆」、「9 ひとり親家族も多様な家族形態の一つであると思う」では、性別との間で統計的有意差があり、平均値は、性別未選択者、女性、男性の順に低くなっています。

「4 公共交通機関で、高齢者、障害のある人、妊娠している人、乳幼児連れの人、体調不良の人等に席を譲るようにしている」については、女性の平均値が最も高く、性別未選択者が低くなっています。

性別と人権についての考え方との間に関連のある項目は少なくないのですが、関連の仕方は同じではなく、いずれの性別が最も人権意識が高いと結論づけることはできません。

表 2-3-1 は、年齢と人権意識との関連を見るためにクロス集計と  $\chi^2$  検定を行ったものです。その結果、「4 公共交通機関で、高齢者、障害のある人、妊娠している人、乳幼児連れの人、体調不良の人等に席を譲るようにしている」以外の 8 項目において、年齢との間に統計的有意差が認められます。

表 2-3-2 は、表 2-3-1 において統計的有意差が認められた項目について平均値を求めたものです。

表 2-3-1

		合計	そう 思う	言 え ば そ う 思 う	ど ち ら か と 思 わ な い	言 え ば そ う と	ど ち ら か と 思 わ な い	そ う は 思 わ な い	統 計 的 検 定
1 差別の原因は、差別をされる人の側にもある	10歳代	128	3.9%	17.2%	36.7%	42.2%	p<.001 ***		
	20歳代	175	1.1%	21.7%	42.9%	34.3%			
	30歳代	177	6.2%	22.6%	39.5%	31.6%			
	40歳代	194	8.2%	25.3%	38.7%	27.8%			
	50歳代	216	4.2%	26.4%	43.1%	26.4%			
	60歳代	264	4.9%	18.6%	36.4%	40.2%			
	70歳代以上	230	11.7%	32.2%	27.4%	28.7%			
	合計	1384	6.0%	23.8%	37.5%	32.7%			
2 人権学習に参加したいと思う	10歳代	128	10.9%	46.1%	28.1%	14.8%	p<.001 ***		
	20歳代	174	10.3%	37.9%	34.5%	17.2%			
	30歳代	178	7.9%	29.2%	41.0%	21.9%			
	40歳代	195	5.6%	34.9%	36.4%	23.1%			
	50歳代	218	6.9%	26.6%	46.3%	20.2%			
	60歳代	264	4.9%	26.1%	40.5%	28.4%			
	70歳代以上	227	7.5%	22.9%	40.5%	29.1%			
	合計	1384	7.4%	30.6%	39.0%	23.0%			
3 自分も気づかなくうちに、人を差別してしまう かもしれない	10歳代	127	25.2%	52.0%	16.5%	6.3%	p<.001 ***		
	20歳代	174	33.3%	55.2%	8.6%	2.9%			
	30歳代	179	29.1%	55.3%	12.8%	2.8%			
	40歳代	193	23.8%	62.2%	10.4%	3.6%			
	50歳代	215	15.8%	60.9%	18.6%	4.7%			
	60歳代	263	16.0%	56.7%	18.3%	9.1%			
	70歳代以上	233	14.6%	57.9%	18.5%	9.0%			
	合計	1384	21.5%	57.5%	15.2%	5.8%			
4 公共交通機関で、高齢者、障害のある人、 妊娠している人、乳幼児連れの人、体調不良の人 等に席を譲るようにしている	10歳代	128	52.3%	39.1%	8.6%	0.0%	p=.139		
	20歳代	175	53.7%	41.7%	3.4%	1.1%			
	30歳代	179	49.2%	45.3%	4.5%	1.1%			
	40歳代	195	53.8%	43.1%	2.6%	0.5%			
	50歳代	218	56.4%	38.5%	5.0%	0.0%			
	60歳代	265	60.4%	37.4%	2.3%	0.0%			
	70歳代以上	233	58.4%	38.2%	2.6%	0.9%			
	合計	1393	55.5%	40.2%	3.8%	0.5%			
5 差別、差別と騒ぎすぎるので、かえって差別は なくならないと思う	10歳代	128	21.1%	33.6%	32.0%	13.3%	p=.010*		
	20歳代	175	24.0%	33.7%	27.4%	14.9%			
	30歳代	179	18.4%	37.4%	31.3%	12.8%			
	40歳代	194	21.1%	36.1%	29.9%	12.9%			
	50歳代	218	12.4%	33.5%	35.8%	18.3%			
	60歳代	266	11.3%	35.0%	31.6%	22.2%			
	70歳代以上	232	21.1%	37.9%	23.3%	17.7%			
	合計	1392	17.9%	35.4%	30.1%	16.6%			

## つづき

			そ う 思 う	言 え ば そ う 思 う	ど ち わ ら な い	言 え ば そ う と	ど ち ら か と	そ う は 思 わ ない	統 計 的 検 定
6 差別発言を耳にした場合、やめるように注意したい	10歳代	128	28.1%	53.9%	13.3%	4.7%	p=.029*		
	20歳代	174	20.1%	60.3%	14.4%	5.2%			
	30歳代	178	10.7%	65.2%	19.7%	4.5%			
	40歳代	194	18.0%	63.4%	15.5%	3.1%			
	50歳代	216	14.4%	67.1%	14.8%	3.7%			
	60歳代	262	15.6%	64.1%	16.0%	4.2%			
	70歳代以	233	25.3%	59.7%	11.6%	3.4%			
	合計	1385	18.5%	62.5%	15.0%	4.0%			
7 差別をされた人のくやしさを分からなくても仕方ない	10歳代	127	3.1%	18.1%	37.8%	40.9%	p<.001 ***		
	20歳代	174	4.6%	16.7%	46.6%	32.2%			
	30歳代	177	6.2%	18.1%	40.7%	35.0%			
	40歳代	195	2.6%	16.9%	43.6%	36.9%			
	50歳代	218	1.8%	10.6%	47.7%	39.9%			
	60歳代	266	2.6%	6.0%	41.4%	50.0%			
	70歳代以	228	5.7%	12.3%	32.9%	49.1%			
	合計	1385	3.8%	13.3%	41.5%	41.4%			
8 人権や差別について、あまり関心がない	10歳代	128	3.1%	10.2%	53.9%	32.8%	p<.001 ***		
	20歳代	174	2.9%	20.7%	42.5%	33.9%			
	30歳代	179	3.9%	17.9%	50.3%	27.9%			
	40歳代	195	4.1%	17.9%	44.1%	33.8%			
	50歳代	218	2.8%	20.2%	49.1%	28.0%			
	60歳代	264	4.9%	21.2%	40.5%	33.3%			
	70歳代以	231	8.2%	30.3%	30.7%	30.7%			
	合計	1389	4.5%	20.6%	43.5%	31.5%			
9 ひとり親家族も多様な家族形態の一つであると思う	10歳代	128	82.8%	15.6%	1.6%	0.0%	p<.001 ***		
	20歳代	175	84.0%	14.9%	1.1%	0.0%			
	30歳代	179	74.3%	25.1%	0.0%	0.6%			
	40歳代	195	71.8%	24.6%	3.6%	0.0%			
	50歳代	218	70.6%	25.7%	2.3%	1.4%			
	60歳代	263	67.7%	25.1%	5.3%	1.9%			
	70歳代以	233	63.5%	30.0%	3.9%	2.6%			
	合計	1391	72.3%	23.8%	2.8%	1.1%			

表 2-3-2

F2 年齢	1 差別の原因は、差別をされる人の側にもある・逆	2 人権学習に参加したいと思う	3 自分も気づかぬうちに、人を差別してしまうかもしれない	5 差別、差別と騒ぎすぎるので、かえって差別はなくならないと思う・逆	6 差別発言を耳にした場合、やめるように注意したい	7 差別をされた人のくやしさを分かってもらなくても仕方ない・逆	8 人権や差別について、あまり関心がない・逆	9 ひとり親家族も多様な家族形態の一つであると思う
10歳代	3.2	2.5	3.0	2.4	3.1	3.2	3.2	3.8
20歳代	3.1	2.4	3.2	2.3	3.0	3.1	3.1	3.8
30歳代	3.0	2.2	3.1	2.4	2.8	3.1	3.0	3.7
40歳代	2.9	2.2	3.1	2.4	3.0	3.2	3.1	3.7
50歳代	2.9	2.2	2.9	2.6	2.9	3.3	3.0	3.7
60歳代	3.1	2.1	2.8	2.7	2.9	3.4	3.0	3.6
70歳代以上	2.7	2.1	2.8	2.4	3.1	3.3	2.8	3.6
合計	3.0	2.2	3.0	2.5	3.0	3.2	3.0	3.7

表 2-3-1 と表 2-3-2 より、次のような解釈が可能です。

「2 人権学習に参加したいと思う」、「9 ひとり親家族も多様な家族形態の一つであると思う」については、年代が低いほど平均値が高いことがわかります。しかし、「1 差別の原因は、差別をされる人の側にもある・逆」、「3 自分も気づかぬうちに、人を差別してしまうかもしれない」、「6 差別発言を耳にした場合、やめるように注意したい」、「8 人権や差別について、あまり関心がない・逆」では、年齢と項目との統計的な関連があるとは言っても、どのように関連するかという点について判断することは困難です。また、「5 差別、差別と騒ぎすぎるので、かえって差別はなくならないと思う・逆」、「7 差別をされた人のくやしさを分かってもらなくても仕方ない・逆」については、50 歳代、60 歳代よりも若い年代の平均値のほうが低い傾向が見受けられます。

年齢と人権についての考え方との間に関連があるとは言っても、項目によって関連の仕方は異なっており、年齢と人権についての考え方との間に何らかの規則的な関連があるとは言えません。

表 2-4-1 は職種と人権意識との関連をみたものです。

「7 差別をされた人のくやしさを分かってもらなくても仕方ない・逆」を除く 8 項目において、職種との関連において統計的有意差が認められます。

表 2-4-2 は、表 2-4-1 において統計的有意差の認められる項目について、平均値を求めたものです。

表 2-4-1

		合計	そう 思う	言 え ば そ う 思 う	ど ち ら か と 思 わ な い	言 え ば そ う と	ど ち ら か と 思 わ な い	統 計 的 検 定
1 差別の原因は、差別をされる人の側にもある	自営業	72	15.3%	30.6%	30.6%	23.6%	p<.001 ***	
	自由業	14	0.0%	35.7%	42.9%	21.4%		
	公務員・教員	61	3.3%	24.6%	34.4%	37.7%		
	経営者・役員	35	14.3%	17.1%	40.0%	28.6%		
	正規職員	321	5.9%	27.7%	38.0%	28.3%		
	非正規職員	283	2.8%	22.3%	45.2%	29.7%		
	学生	167	3.6%	16.2%	37.1%	43.1%		
	無職	417	7.2%	23.7%	33.3%	35.7%		
	合計	1370	5.9%	23.8%	37.5%	32.8%		
2 人権学習に参加したいと思う	自営業	72	4.2%	23.6%	43.1%	29.2%	p<.001 ***	
	自由業	14	0.0%	14.3%	50.0%	35.7%		
	公務員・教員	61	18.0%	42.6%	23.0%	16.4%		
	経営者・役員	35	5.7%	22.9%	37.1%	34.3%		
	正規職員	323	7.1%	27.9%	44.0%	21.1%		
	非正規職員	284	7.0%	31.3%	42.3%	19.4%		
	学生	167	9.0%	49.7%	26.3%	15.0%		
	無職	415	6.3%	25.3%	40.7%	27.7%		
	合計	1371	7.3%	30.6%	39.4%	22.7%		
3 自分も気づかないうちに、人を差別してしまう かもしれない	自営業	72	18.1%	52.8%	20.8%	8.3%	p=.007 **	
	自由業	14	21.4%	50.0%	28.6%	0.0%		
	公務員・教員	61	29.5%	49.2%	19.7%	1.6%		
	経営者・役員	34	20.6%	58.8%	17.6%	2.9%		
	正規職員	321	23.4%	61.4%	11.8%	3.4%		
	非正規職員	284	20.1%	58.8%	17.3%	3.9%		
	学生	166	28.3%	53.6%	10.8%	7.2%		
	無職	418	16.7%	58.1%	16.0%	9.1%		
	合計	1370	21.2%	57.7%	15.3%	5.8%		
4 公共交通機関で、高齢者、障害のある人、 妊娠している人、乳幼児連れの人、体調不良の人 等に席を譲るようにしている	自営業	72	58.3%	40.3%	1.4%	0.0%	p=.016 *	
	自由業	14	57.1%	35.7%	7.1%	0.0%		
	公務員・教員	61	44.3%	50.8%	4.9%	0.0%		
	経営者・役員	35	71.4%	22.9%	5.7%	0.0%		
	正規職員	323	47.7%	46.1%	5.3%	0.9%		
	非正規職員	285	54.4%	42.1%	3.2%	0.4%		
	学生	167	53.3%	39.5%	7.2%	0.0%		
	無職	422	61.8%	35.8%	1.7%	0.7%		
	合計	1379	55.2%	40.5%	3.8%	0.5%		
5 差別、差別と騒ぎすぎるので、かえって差別は なくならないと思う	自営業	72	33.3%	25.0%	29.2%	12.5%	p=.001 **	
	自由業	14	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%		
	公務員・教員	61	4.9%	26.2%	32.8%	36.1%		
	経営者・役員	35	20.0%	31.4%	34.3%	14.3%		
	正規職員	323	20.4%	35.3%	30.3%	13.9%		
	非正規職員	285	13.0%	36.8%	33.0%	17.2%		
	学生	167	21.0%	35.3%	27.5%	16.2%		
	無職	422	16.8%	37.2%	28.7%	17.3%		
	合計	1379	17.8%	35.2%	30.3%	16.7%		

つづき

		合計	そう 思う	言 え ば そ う と 思 う	ど ち ら か と 思 わ な い	言 え ば そ う と 思 わ な い	そ う は 思 わ な い	統 計 的 検 定
6 差別発言を耳にした場合、やめるように注意 したい	自営業	72	19.4%	62.5%	12.5%	5.6%	p<.001***	
	自由業	14	0.0%	50.0%	21.4%	28.6%		
	公務員・教員	61	21.3%	59.0%	18.0%	1.6%		
	経営者・役員	35	28.6%	57.1%	8.6%	5.7%		
	正規職員	321	14.3%	65.4%	15.9%	4.4%		
	非正規職員	281	12.5%	70.5%	14.9%	2.1%		
	学生	167	26.3%	55.7%	12.6%	5.4%		
	無職	421	21.1%	58.9%	16.2%	3.8%		
	合計	1372	18.3%	62.5%	15.2%	4.1%		
7 差別をされた人のくやしさを分からなくても 仕方ない	自営業	71	2.8%	14.1%	46.5%	36.6%	p=.064	
	自由業	14	0.0%	21.4%	50.0%	28.6%		
	公務員・教員	61	6.6%	9.8%	39.3%	44.3%		
	経営者・役員	35	0.0%	8.6%	45.7%	45.7%		
	正規職員	322	3.7%	17.1%	44.7%	34.5%		
	非正規職員	285	1.4%	11.9%	46.0%	40.7%		
	学生	167	4.8%	14.4%	38.9%	41.9%		
	無職	417	4.8%	11.8%	35.7%	47.7%		
	合計	1372	3.6%	13.4%	41.5%	41.5%		
8 人権や差別について、あまり関心がない	自営業	72	11.1%	22.2%	45.8%	20.8%	p=.001**	
	自由業	14	7.1%	21.4%	42.9%	28.6%		
	公務員・教員	61	4.9%	13.1%	39.3%	42.6%		
	経営者・役員	34	2.9%	20.6%	35.3%	41.2%		
	正規職員	323	4.0%	22.3%	50.2%	23.5%		
	非正規職員	283	2.8%	21.9%	43.8%	31.4%		
	学生	167	3.0%	10.2%	49.7%	37.1%		
	無職	422	5.0%	23.5%	37.2%	34.4%		
	合計	1376	4.4%	20.6%	43.7%	31.3%		
9 ひとり親家族も多様な家族形態の一つである と思う	自営業	72	63.9%	26.4%	8.3%	1.4%	p=.006**	
	自由業	14	64.3%	28.6%	7.1%	0.0%		
	公務員・教員	61	75.4%	21.3%	1.6%	1.6%		
	経営者・役員	35	77.1%	17.1%	5.7%	0.0%		
	正規職員	323	74.0%	23.2%	2.2%	0.6%		
	非正規職員	282	67.7%	29.4%	1.8%	1.1%		
	学生	167	86.2%	12.6%	1.2%	0.0%		
	無職	423	69.3%	25.1%	3.8%	1.9%		
	合計	1377	72.3%	23.7%	2.9%	1.1%		

表 2-4-2

F3 職業	1 差別の原因は、差別をされる人の側にもある・逆	2 人権学習に参加したいと思う	3 自分も気づかないうちに、人を差別してしまうかもしれない	4 公共交通機関で、高齢者、障害のある人、妊娠している人、乳幼児連れの人、体調不良の人等に席を譲るようにしている	5 差別、差別と騒ぎすぎるので、かえって差別はなくならないと思う・逆	6 差別発言を耳にした場合、やめるように注意したい	8 人権や差別について、あまり関心がない・逆	9 ひとり親家族も多様な家族形態の一つであると思う
自営業	2.6	2.0	2.8	3.6	2.2	3.0	2.8	3.5
自由業	2.9	1.8	2.9	3.5	2.3	2.2	2.9	3.6
公務員・教員	3.1	2.6	3.1	3.4	3.0	3.0	3.2	3.7
経営者・役員	2.8	2.0	3.0	3.7	2.4	3.1	3.2	3.7
正規職員	2.9	2.2	3.1	3.4	2.4	2.9	2.9	3.7
非正規職員	3.0	2.3	3.0	3.5	2.5	2.9	3.0	3.6
学生	3.2	2.5	3.0	3.5	2.4	3.0	3.2	3.9
無職	3.0	2.1	2.8	3.6	2.5	3.0	3.0	3.6
合計	3.0	2.2	2.9	3.5	2.5	3.0	3.0	3.7

表 2-4-1 と表 2-4-2 より次のような解釈ができます。

総じて、公務員・教員、学生の平均値が高い傾向が見られ、自営業、自由業において平均値の低い項目が散見されます。

次に、地区と人権意識との関連を検討しました。その結果、表 2-5-1 のとおり、「8 人権や差別について、あまり関心がない・逆」においてのみ地区の違いがみられることがわかります。地区とのクロス集計において統計的に有意な関連がみられなかった項目については、表を省略しています。

表 2-5-2 は、平均値を示しています。